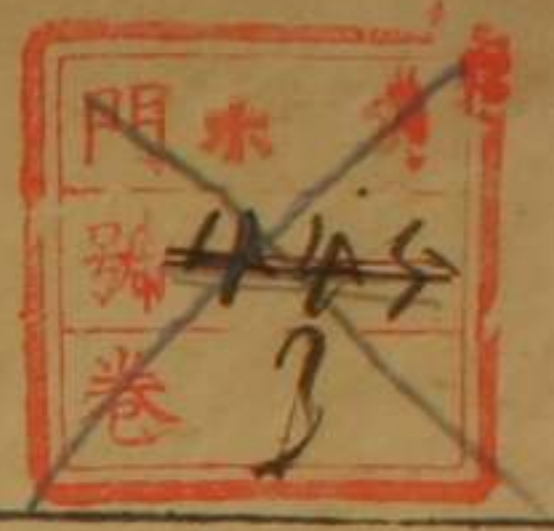


7.2
4386



明治九年八月上梓

中根淑著

日本小文典

迷花書室藏



利
449
甲

叙

余嚮ニ日本文典ヲ著シ吾ガ國ノ文法ヲ論ズ中

ニ就キテ疑難アル者ハ從フテ之ヲ論辯ス其ノ

說未必シモ疵瑕無クンバアラズト雖幸ニ時人

ノ棄ツル所ト為ラズ以世ニ行ハル一ヲ得然

レ共書中議論甚多ク之ニ加フルニ例文槩古書

ニ由ルヲ以初學ノ徒或ハ其ノ解シ易カラザル

ヲ憂フル者アリ是ヲ以今特ニ其ノ煩ナル者ヲ

棄テ其ノ簡ナル者ヲ収メ且今時郷校用フル所

ノ書類ニ就キテ其ノ例文ヲ採リ務メテ其ノ義

明治九年八月六日 醍醐 氏寄贈



2
4386

日本小文典 卷之上

ヲシテ、會得シ易カラシム、書成ル、分チテ二卷ト
ナシ、之ヲ名ケテ日本小文典ト云フ、小學童生先
此ノ書ニ由リ、文法ノ大綱ヲ領シ、而後其ノ細目
ヲ求メバ、豈解シ難キノ文法アラシヤ、

明治九年七月

中根淑識ス

藏書

日本小文典卷之上

中根淑著ス

忠貞

○言葉ハ、己ノ思フ事ヲ顯ス為ノ者ニシテ、色々
ナル聲ヲ、合ハセテ造リタル者ナリ、此ノ聲ノ目
印ニ用フル者ヲ字ト云ヒ、其ノ字ヲ連子テ、話シ
ノ如ク書キタル者ヲ文ト云フ、元來言葉ニハ、夫
々極リタル順アリテ、話シトナルコト故、其ノ順ヲ
違ヘズニ、字ニテ書クヲ文法ト云フ、故ニ此ノ文
法ハ、己ノ存シ寄リニテ、妄リニ定ムベキニ非ズ、

何レモ昔ヨリ用ヒ來レル言葉ト昔ノ學者ノ記
 シ置カレタル所トヲ以、正シトスルヲナレバ、人
 ヲ之ヲ誤ラザル為ニ、文典ヲ學ブベキナリ、
 文法ヲ別チテ四種トナス、則、文字論、言語論、文章
 論、音調論、是ナリ、文字論ハ、文字ノ譯ヲ論ジ、言語
 論ハ、言葉ノ別チヲ論ジ、文章論ハ、文章ノ締メ括
 リヲ論ジ、音調論ハ、聲ノ調子ヲ論ズ、

○文字論

伊呂波

○日本ノ音凡四十七アリ、故ニ其ノ字数亦四十

七アリ、即チハ、
 ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ、サ、シ、ス、セ、ソ、タ、チ、ツ、テ、ト、ナ、ニ、ネ、ノ、ハ、ヒ、フ、フ、フ、カ、ヨ、タ
 レ、ソ、ツ、子、ナ、ラ、ハ、ウ、サ、ハ、オ、ク、ヤ、マ、ク、フ、コ、エ、テ、ア
 サ、キ、ユ、メ、ミ、シ、エ、ヒ、モ、ヤ、ス、是、ナ、リ、此、ノ、形、ノ、字、ヲ
 片假名ト云フ、又、イ、ろ、は、に、は、へ、と、ち、り、ぬ、る、を、わ
 か、よ、た、れ、ろ、つ、ね、な、ら、む、う、の、れ、く、や、ま、け、ふ、こ
 以、テ、あ、さ、き、ゆ、め、み、し、ゑ、ひ、も、せ、す、ノ、如、キ、形、ノ、字
 ア、リ、也、ヲ、平假名ト云フ、又、以、テ、あ、さ、き、ゆ、め、み、し、ゑ、ひ、も、せ、す、ノ、如、キ、形、ノ、字
 皆、其、形、ノ、字、ヲ、中假名ト云フ、以上何レモ文
 字ノ形、外、字、アリ、也、ヲ、中假名ト云フ、以上何レモ文

字ノ形ニ違ヒアルノミニテ、讀ミ聲ニ於キテハ、少モ變リタルコトナキナリ、但シ之ヲ伊呂波ト云フ者ハ、其ノ最初ノ三字ヲ採リテ、名ケタルナリ、伊呂波ノ外、別ニシノ字アリ、昔ハ唯ハノ字ヲ用ヒタリシガ、後ニハムトシト、自分ル、コトナリタリ、之ヲ變音ト云フ、此ノ字平假名中假名共ニ人ヲ用フ、ツハ時ニ由リテ、聲ノ半分ヲ用フルコトアリ、勝チテ、ヲ勝ツテト云フガ如シ、是モ亦變音トス、片假名ノ文字ヲ畧シ、二字ヲ合ハセテ、一跡トシ

タル者アリ、即トキラ、トモヲ、トコトヲ、トシテ、ヲメト合ハセタルガ如シ、

五十音

○伊呂波四十七字ヲ、聲ノ都合ニ由リテ、横縦ニ並ベタル者ヲ、五十音ト云フ、其ノ中イウエノ三字ヲ、二處ニ用フル故、合ハセテ五十字トナルナリ、其ノ縦ノ行ヲ縦行ト云ヒ、横ノ行ヲ横行ト云フ、即左ノ如シ、

五十音ノ圖

イ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

阿 ^ア 縦行	ア	行横	阿 ^ア
加 ^カ 縦行	カ	行横	伊 ^イ
佐 ^サ 縦行	サ	行横	宇 ^ウ
多 ^タ 縦行	タ	行横	衣 ^エ
奈 ^ナ 縦行	ナ	行横	於 ^オ
波 ^ハ 縦行	ハ		
麻 ^マ 縦行	マ		
也 ^ヤ 縦行	ヤ		

良^ラ縦行
 和^ワ縦行
 口
 井
 ウ
 エ
 ヲ

子母音

○阿縦行^アイ^イウ^ウエ^エオ^オノ五^五又^又母音ト云^{ト云}ヒ^ヒ其^其ノ餘^{ノ餘}
 又^又子音ト云^{ト云}フ^フ其^其ノ故^{ノ故}ハ^ハア^アイ^イウ^ウエ^エオ^オノ五^五ハ^ハ雜^雜リ
 ナ^ナキ音^音ニ^ニテ^テ初^初ノ^ノア^アト^ト呼^呼ベ^ベハ^ハ何^何時^時迄^迄引^引キ^キテ^テモ^モア^ア
 ノ聲^聲殘^殘ル^ルナ^ナリ^リイ^イウ^ウエ^エオ^オモ^モ皆^皆斯^斯ク^クノ如^如シ^シ其^其ノ餘^{ノ餘}
 ノ音^音ハ^ハ盡^盡ク^ク雜^雜リ^リタル^{タル}音^音ナ^ナリ^リ比^比ハ^ハ阿^阿横^横行^行ノ^ノカ^カ
 サ^サタ^タナ^ナハ^ハマ^マヤ^ヤラ^ラワ^ワ又^又長^長ク^ク引^引キ^キテ^テ呼^呼ベ^ベハ^ハ初^初ノ^ノニ^ニ

出シタル音ハ消エテ、唯『ア』ノ音ノミ殘ルナリ、伊
横行ナレバ、『イ』ノ音ノミ殘リ、宇横行ナレバ、『ウ』ノ
音ノミ殘ル、衣於ノ横行モ、皆斯クノ如シ、故ニ子
音ハ、母音ニ由リテ生ズル者ト知ルベシ、

右ノ内、『ヤ』、『ユ』、『ヨ』、『ワ』、『ヰ』、『ヱ』、『ヲ』ノ七音ハ、母音ヲ二合
ハセタル音ナリ、即『イ』、『ア』ヲ誥メテ、『ヤ』、『イ』、『ウ』ヲ誥メ
テ、『エ』、『イ』、『オ』ヲ誥メテ、『ヨ』、『ウ』、『ア』ヲ誥メテ、『ワ』、『ウ』、『イ』ヲ誥
メテ、『ヰ』、『ウ』、『エ』ヲ誥メテ、『ヱ』、『ウ』、『オ』ヲ誥メテ、『ヲ』トナル
ナリ、
前ニ擧ゲタル、五ノ母音ノ外、『ヤ』、『ユ』、『ヨ』及『ワ』ノ四

音ハ、時アリテ、母音トナルトアリ、即『シ』、『ヤ』、『チ』、『ユ』、『リ』
『ヨ』、『ク』、『ワ』等ノ如シ、尤是ハ漢字ノ音カ、又ハ西洋ヨ
リ来リタル言葉ナラデハ、無キトナリ、

濁音

○加佐多波縦行ノ二十音ハ、濁リタル音ニ讀ム
トアリ、其ノ時ハ、右ノ肩ニ二ノ小キ點ヲ添ヘテ
印トス、即『ガ』、『ギ』、『グ』、『ゲ』、『ゴ』、『ザ』、『ジ』、『ズ』、『ゼ』、『ゾ』、『ダ』、『ヂ』、『ヅ』、『テ』、『ド』、『バ』
『ビ』、『ブ』、『ボ』等ノ如シ、
半濁音

○波縦行ノ五音ハ、時アリテ唇ヲ彈ク様ニ發ス

〔シ〕ノ音亦然リ、比へバ、**紅葉**ヲモミシ、**雉**ヲキゲ
ト書クガ如シ、

〔ズ〕ノ音亦然リ、比へバ、**鶉**ヲウズラ、**鼠**ヲ子ツミ
ト書クガ如シ、

右ノ外、働キニ用フル言葉ノ終リハ、尤氣ヲ付ケ
テ知ルマキナリ、比へバ、**笑**ヲワウト書キ、

消エヲキヘト書クガ如シ、

漢語ハ、漢土ノ文字ヲ音讀ニシテ、日本ノ言葉
ト同様ニ用フル者ナルガ、其ノ音モ、假名ニテ綴
ルハ、皆極リアルナリ、比へバ、**學校**ノ校ハ、コ

ウト書ク音ニ非ズ、**文字**ノ字ハ、**デ**ト書ク音ニ非
ザルガ如シ、是亦心ヲ用フマキナリ、

漢字ノ用ヒ

○日本ノ言葉ヲ、假名ニテ綴ルハ、或ハ唯一ノ
言葉ニテモ幾字モ用ヒザレバ、書キ載スルナ能
ハザル者アリ、然ルニ漢土ノ文字入り来リタル
中、**神**ト云フ音ノ字ニハ、其ノ意味ニ由リテ、日本
ノ**カミ**ト云フ言葉ヲ付ケ、**人**ト云フ音ノ字ニハ、
ヒトト云フ言葉ヲ付ケ、其ノ他總マテノ漢字ニ、
皆斯クノ如ク言葉ヲ付ケテ、遂ニ文字ノ形ヲ目

當テニ、之ヲ訓讀シテ、一々假名ヲ用ヒザル習ハ
セト為リタリ、是ハ數多ノ假名ヲ用フルヨリ、餘
程便利ナル所アルヲ以ナリ、然レ共言葉ノ都合
ニ由リテ、間ニ假名ヲ加ヘザレバ、其ノ意味充分
ニ通ゼザル故、遂ニ兩ナガラ雜ヘ用フルトナ
リタリ、

○言語論

名詞

○名詞ハ、物ヤ事ノ名目ニシテ、文章ノ中ニテ、常
ニ本トナル者ナリ、即天・地・日・月・海・山・人・畜・草・木・鳥

普通名詞

虫ヨリ、善・惡・貧・富・賢・愚・喜・怒ニ至ル迄、凡名目ヲ立
テタル者ハ、皆之ヲ名詞ト云フ、其ノ中三種ノ差
別アリ、一ヲ普通名詞ト云ヒ、一ヲ固有名詞ト云
ヒ、一ヲ無形名詞ト云フ、

○普通名詞ハ、物ノ一類ニ就キテ付ケタル名目
ナリ、比ヘハ草ト云ヒ、木ト云ヒ、鳥ト云ヒ、虫ト云
ヘバ、何レノ草木ニモ、何レノ鳥虫ニモ、通用スル
名目ニシテ、普通名詞ナリ、是ヨリ一段小分ケシ
テ、菊ト云ヒ、萩ト云ヒ、松ト云ヒ、梅ト云ヒ、鶴・雁・蛇
蛙ト云フモ、是又何レノ菊・萩・松・梅・鶴・雁・蛇・蛙ニモ、

固有
名詞

通用スル名目ナレハ、又普通名詞トスルナリ、
○固有名詞ハ、同類中ノ一物ニ限リテ付ケタル
名目ナリ、比、バ國ニ就キテ云ヘバ、日本、支那、英
吉利ノ類、日本内ノ國ニ就キテ云ヘバ、山城、大和、
河内ノ類、府縣ニ就キテ云ヘバ、東京府、神奈川縣、
ノ類、山川ニ就キテ云ヘバ、富士山、利根川ノ類、其
ノ外、人ニ就キテ云ヘバ、義經、辨慶ノ類、松ニ就キ
テ云ヘバ、唐崎、松ノ類、劍ニ就キテ云ヘバ、草薙、劍
ノ類ノ如ク、何レモ唯其ノ一物ニ付ケタル名目
ニシテ、同類中ニテモ、外ニ通用セザル者ナレバ、

無形
名詞

數

之ヲ固有名詞ト云フナリ、
○無形名詞ハ、仕業、理窟ノ上ニテ、其ノ名目ア
レ共、外ノ品物ノ様ニ、形ヲ持タヌ者ヲ云フ、即、春、
夏、秋、冬、東、西、南、北、及、信、義、親、愛ノ類ヲ云フ、
○前ニ掲ゲタル、三種ノ名詞ニ、何レモ數ト云フ
ナリ、其ノ數ニ又二ノ差別アリ、一ヲ單數ト云
フ、一ヲ複數ト云フ、
單數トハ、幾箇アル者ニテモ、唯其ノ内ノ一ヲ顯
スヲ云フ、複數トハ、二ヨリ以上ノ物ヲ、一所ニ合
ハセテ顯スヲ云フ、日本ニテハ、是ハ單數、是ハ複

大
八
之
類

十

数ト、別ニ文字ヲ分ツテ無ケレ共、前後ノ文章ノ様子ヤ、別ニ言葉ヲ添フルト杯ニテ、其ノ複数ナルトヲ頭スナリ、比へバ地球ノ表面ニ縦横ノ線アリト云フ文ノ線ハ、上ニ縦横ト云フ言葉アルヲ以、複教ナルト明ナリ、経線ハ皆南北ノ極ヨリ引キ出シタル圍ナルヲ以ト云フ文ノ経線ハ、下ニ皆ト云フ言葉アルヲ以、亦複教ナルト明ナリ、此ノ児等ハ學校ニ行クヲ樂ミト思ヘリヤト云フ文ノ児ハ、別ニ等ト云フ言葉ヲ添ヘタルニテ、是亦明ニ複教タルトヲ知ルナリ、其ノ外山々

性

川々人々ノ如ク、重子タル言葉ニテ、複教ヲ頭スルモアルナリ、
○名詞ノ中、人ニ就キタル言葉ニハ、性ト云フアリ、其ノ性ニ男性女性ノ二アリ、
○男性トハ、天子親王ヨリ、殿ト云ヒ、息ト云ヒ、夫ト云ヒ、婿ト云ヒ、下男ト云フ如ク、總ベテ男ニ就キタル言葉ヲ云フ、
○女性トハ、皇后皇女ヨリ、奥ト云ヒ、娘ト云ヒ、妻ト云ヒ、嫁ト云ヒ、下女ト云フ如ク、總ベテ女ニ就キタル言葉ヲ云フ、

動詞狀
ノ名詞

○動詞ニ作リタル言葉ヲ、其ノ儘名詞ニ用フル
 一アリ、之ヲ動詞狀ノ名詞ト云フ、比ハバ讀ミト
 云フモ、書キト云フモ、富ミト云フモ、本ハ動詞ナ
 レ共、讀ミ書キノ外ハ算術ヲ學ブベシト云フ文
 ノ讀ミ書キ、及ビ家業ヲ勵メハ富ミヲ致スト云
 フ文ノ富ミ杯ハ、皆名詞トシテ用ヒタルナリ、
 ○異體ノ言葉ヲ以、稀ニ名詞トスル一アリ、即再
 歸リ來ルベキカ又其ノ儘ニ飛ビ去ルカト云フ
 文ノ儘ト云フ言葉、及ビ彼ノ子ハ彼ノ小女ノ為
 ニ親切ナリヤト云フ文ノ為ト云フ言葉ノ如キ

異體ノ
名詞

合成名
詞

是ナリ、是等ハ何處ヘ用ヒテモ、必名詞ト云フ譯
 ニハアラ子共、前ニ掲ゲタル文ノ如クニ、用ヒタ
 ルキハ、必名詞トナスベキナリ、
 ○種々ノ言葉ヲ合ハセテ、一ノ名詞ト為シタル
 者ヲ、合成名詞ト云フ、比ハバ手習ヒト云フハ手
 ト云フ言葉ト、習ヒト云フ言葉トヲ合ハセテ、一
 ノ言葉トナシタル者、綿入レト云フハ、綿ト云フ
 言葉ト、入レト云フ言葉トヲ合ハセテ、一ノ言葉
 トナシタル者、其ノ外、書名ノ小學讀本地理初歩
 地名ノ磨針峠親知ラズ、器械ノ顯微鏡、蒸氣車ノ

類モ、皆種々ノ言葉ヲ合ハセタル者ナレ共、其ノ物其ノ處ノ名トナス上ハ、引キ括リテ、一ノ名詞トスルナリ、又熟語ノ運動今年養生ノ類モ、此ノ例ニ從フテ、別ニ其ノ言葉ヲ分タズ、亦一ノ名詞ト見做スベキナリ、

代名詞

○代名詞ハ、人又ハ物事ノ名ノ代リニ用フル者ニシテ、自分ノ名ノ代リニ「吾」ト云ヒ、相手ノ名ノ代リニ「汝」ト云ヒ、他人ノ名ノ代リニ「彼」ト云ヒ、事ヤ物ヲ指シテ、「是」ト云ヒ、「其」ト云フ類ナリ、比ヘバ

神武天皇ノ「吾」將ニ東征シテ都ヲ中州ニ定メ、ト宣フ中ノ「吾」ト云フハ、神武天皇ガ、自御名ノ代リニ用ヒ給フ者、又馬子病ノ為ニ佛ニ禱ラントテ請フ天皇乃勅シテ曰ハク「汝」獨是ヲ為ヨト云フ文ノ「汝」ト云フハ、敏達天皇ガ、相手ノ馬子ノ名ノ代リニ用ヒラレ、是ト云フハ、前ノ佛ニ禱ラント云フ事柄ノ代リニ用ヒラレタル如キノ類ナリ、此ノ代名詞ト云フ者ハ、話シノ上ニシテモ、文章ノ上ニシテモ、誠ニ便利ナル者ナリ、今其ノ種類ヲ分チテ三種トス、則人代名詞、普通代名詞、疑問代名

人代名詞

○人代名詞ハ、總マテ人ノ名ノ代リニ用フル者ヲ云フ、其ノ中ニ二ノ差別アリ、一ヲ真称代名詞ト云ヒ、一ヲ假称代名詞ト云フ、

真称代名詞

○真称代名詞ハ、言葉ヲ作りタル初メヨリ真ニ人ノ名ノ代リトシテ、拵ヘタル者ヲ云フ、即吾、汝、彼等ノ類ナリ、
天子ガ自朕ト宣フモ、下々ヨリ天子ヲ陛下ト呼フモ、又ハ我々ガ、相互ニ拙者ト称シ、足下ト呼ブ類モ、初メヨリ代名詞ニ作りタル言葉ナレバ、亦

假称代名詞

真称代名詞トスルナリ、
○假称代名詞ハ、其ノ言葉ヲ造リタル初メ、代名詞ニ用ヒタルニハ、非ザリシカ共、年ヲ経ルニ從ヒテ、代名詞ニモ假リ用フル様ニナリタル者ヲ云フ、即僕ト云フハ、奴僕ノコナルヲ、假リテ吾ノ場所ニモ用ヒ、君ト云フハ、君主ノコナルヲ、假リテ汝ノ場所ニモ用フル類ナリ、其ノ外、臣ト云ヒ、妾ト云ヒ、私ト云ヒ、那方ト云フモ、皆此ノ例ト知ルベシ、
○人代名詞ニハ、必三ノ所有スル者アリ、則人稱

人代名詞ニハ、必三ノ所有スル者アリ、則人稱

人称

ト数ト性トノ三ナリ、
 ○人称ニ又三ノ別ヲアリ、第一一人称、第二二人称、第三三人称、
 一人称トハ、自分ノ名ノ代リニ用フル者ヲ云フ、
 二人称トハ、自分ノ相手ノ名ノ代リニ用フル者ヲ云フ、三人称トハ、自分ト相手ノ外ナル人ノ名ノ代リニ用フル者ヲ云フ、即我ハ馬ニ乗ルトヲ好メリト云フ文ノ我ハ、一人称、汝ハ馬ニ乗ルトヲ好ムカト云フ文ノ汝ハ、二人称、彼ノ如ク疾ク乗ルトヲ好マスト云フ文ノ彼ハ、三人称ナリ、此

数

性

ノ外ノ人代名詞モ、皆此ノ例ナリ、
 是其ヲ人代名詞トシテ遣フハ、一人称ノ是ヲ、時トシテハ二人称ニモ、三人称ニモ用ヒ、二人称ノ其ヲ三人称ニモ用フ、即是ハ何物ゾ是ニ尋ヌベシ、其ニ問フベシ等ノ如シ、
 ○人代名詞ノ数モ、名詞ノ如ク単複ノ差別アレ共、大抵ハ等供達等ノ言葉ヲ添ヘテ、複数を顯ス
 一ニテ、前後ノ文章ノ様子ニテ顯ス
 一ハ、至リテ稀ナリ、
 ○人代名詞ノ性ハ、男性・女性・通性ノ三ニ分ツ、是

普通代名詞

○普通代名詞ハ、コ・コレ・ソ・ソレ・カ・カレ・ア・アレ等ナリ、是ハ人ニモ物ニモ、又ハ事ニモ、通ジテ代ヘ用フル者ナルガ故、普通代名詞ト云フナリ、是ヲ

稱	人	三	稱	人	二
普	假	真	普	假	真
					足下
是彼 是彼 其他 其他			是是 是其 其其	君那 那方	汝汝

ハ、真稱・假稱ニ拘ラス、男ニノミ用フル僕ノ如キハ、男性トシ、女ニノミ用フル妾ノ如キハ、女性トシ、男ニモ女ニモ通シテ用フル余・汝・是・其ノ如キハ、通性トス、

人稱及ビ性ノ圖

稱	人	一	
普	假	真	
	僕	某	男性
	妾		女性
是 是	私	余 余 己	通性

物事ノ代リニ用フルハ、即是ハ金其ハ銀他ハ鉛
及ビ虚言ノ悪キ事ハ屢之ヲ聞ケリ等ノ如シ、
普通代名詞ヲ、事物ニ用フルキハ、別ニ人稱ヤ性
ノ如キ差別ハナケレ共、唯数ノミアルナリ、尤是
ハ名詞ノ數ノ如ク、前後ノ文章カ、又ハ外ニ等ノ
字杯ヲ添フルトニテ、之ヲ顯スナリ、即鏡_ニ玉_ヲ鳥
羽ニ迎ヘテ是ヲ温明殿ニ安ンズト云フ文ノ是
ハ、上ニ鏡_ト玉_トノニアルヲ以、複數タルトヲ知
ルナリ、

○是_コ其_ノ彼_ニ後詞ノノヲ添ヘテ是_コノ其_ノ彼_ノト

名詞状ノ代名

遣フキ、上ヲ指ス_トモアリ、又ハ下ヲ指ス_トモア
ルナリ、即此_ノ鳥_ハ其_ノ性水上ニ泳グ_トヲ好メ
リト云フ文ノ、此_ノ其_ノハ、何レモ鳥ヲ指ス言葉
ナレ共、一ハ上ヨリ下ヲ指シ、一ハ下ヨリ上ヲ指
スノ違ヒアルナリ、此ノ上ヲ指ス者ハ、全ク代名
詞ナレ共、下ヲ指ス者ハ、形容詞ノ形アルヲ以、代
名詞状ノ形容詞トスルナリ、
○代名詞中ニ、一種名詞状ノ代名詞ト云フアリ、
即前後ニ攀グル事物ノ代リニ、右ノ通り、左ノ通
リ杯ト用フル類ナリ、是ハ元來名詞ナレ共、姑假

○凡形容詞之ヲ分チテ三種トス、一ヲ數形容詞トシ、一ヲ尊稱形容詞トシ、又一ヲ一般形容詞トス、

數形容詞

○數形容詞ハ、物ノ數ヲ形ス者ナリ、之ニ基数序數ノ二アリ、

○基数ニ又二ノ差別アリ、一ヲ定數ト云ヒ、一ヲ不定數ト云フ、

○定數トハ、一・二・三・四・ヨリ、百・千・萬・億ニ至ル迄ノ數ヲ以形容スルヲ云フ、即六十間一町等ノ如シ、數ハ、時ニ由リテ、動詞又ハ副詞ヲ形容スルトアリ

凡、即之ヲ一統ス、一時ニ來ル等ノ如シ、

數ニ何レモ形容詞ナレ共、一ガ一、一ニガ二ト云フ如ク、唯勘定ノ目錄ニノミ攀ダレ類ハ、品物ノ數ヲ形容スルニ非ザレバ、皆名詞トスルナリ、

○不定數トハ、多キ人、寡キ机、數多ノ小兒、僅ノ書物ノ如ク、物ノ多少ニ拘ラズ、其ノ數ノ定ナラス

キニ用フル者ヲ云フ、

名詞代名詞ノ複數ヲ顯ス為ニ用フル、友達子供、彼等等ノ達供等ノ類モ、亦不定數ト知ルベシ、

○序數トハ、物事ノ次第順序ヲ並べ立ツルキ、用

フル数ヲ云フ、即第一代、第二代、三番、四番、卷五、卷六、等ノ如シ、是ハ基数ニ用フル数字ト、其ノ形少モ變ラ子共、第番卷杯ノ名詞ニ添フト、其ノ用ヒ方ヲ異ニスルナリ、分ケテ云ヘバ、基数ハ物ノ勘定スル為ノ数、序数ハ順ヲ立ツル為ノ数ト心得ベシ、

尊称形容詞

○尊称形容詞ハ、總ベテ言葉遣ヒヲ丁寧ニスルハ用フル者ナリ、即御簾、御祝、御殿、等ノ如シ、此ノ言葉ハ、唯名詞ヲ形容スルノミナラズ、外人言葉ヲ形容スルトアリ、即御手前、御早、御讀、ミナ

一般形容詞

サレ、御勉強ナル事等ノ如シ、
世間ノ人、女子ヲ呼ブ、其ノ名ノ上ニ、オヲ添ヘテ、オ松、オ竹ト云フモ、元ハ敬フ意味ヨリ出デタル一故、是亦尊称形容詞トスルナリ、
○一般形容詞ハ、数形容詞ト、尊称形容詞トノ二ヲ取り除ケタル、其ノ外ノ形容詞ヲ云フナリ、
○形容詞ハ、種々ノ言葉ヨリ、ナル、ノ、等ヲ履ミテ之ヲ形ル、アリ、即其ナル人ト云フハ、代名詞状ノ形容詞、口惜ノ事ト云フハ、動詞状ノ形容詞、何時ノ世ト云フハ、副詞状ノ形容詞ナリ、

外ノ形容詞

ナル者

○形容詞ニモ、合成シタル言葉甚多シ。物憂キ時、
乘リ善キ馬ノ、物ハ名詞、乘リハ動詞ナレ共、憂キ
善キト合シテ、熟語トナリタル上ハ、一ノ形容詞
ト見做スベキナリ、

日本小文典卷之上終リ

日本小文典卷之下

中根淑著ス

動詞

○動詞ハ、働キラナス言葉ニシテ、即視ル・聴ク・喜
ブ・怒ル・往ク・来ル・取ル・遣ル等ノ如キ類ヲ云フ、凡
話シニテモ、文章ニテモ、此ノ動詞ト云フ者ナキ
所ハ、其ノ意味通ゼザル故、言葉ノ中ニ於キテ、至
リテ肝要ナル者ナリ、
動詞ノ中、種類甚多シ、即單用動詞・重用動詞・自動
詞・他動詞・順動詞・逆動詞・規則動詞・不規則動詞及

單用動詞

ビ助動詞分詞等ノ差別アリ、
○單用動詞トハ、初メニ擧ゲタル視ル・聴クノ如ク、唯一言ニテ、其ノ働キヲ言ヒ盡クス者ヲ云フ、即花ヲ視ル・話シヲ聴クト云ヘバ、唯一言ニテ、其ノ意味全ク盡クルガ如シ、

重用動詞

○重用動詞トハ、動詞ヲ重子テ用フルヲ云フ、即花ヲ視盡クス・話シヲ打チ聴クノ如シ、是ハ一ノ動詞ニテハ、其ノ意味ヲ盡サハル故、箇様ニ重子テ用フルナリ、其ノ言葉ノ掛リ方ニ由リテハ、視盡クス勿レ・打チ聴ク能ハス・扨ト、三モ四モ、重又

自動詞

ルコアリ、
○自動詞トハ、其ノ言葉獨自働キヲナシテ、外ノ言葉ニ、意味ヲ移サヌ者ヲ云フ、比ヘバ、彼ハ行クト云ヘバ、行クト云フ言葉、彼ノ働キヲ顯シタルノミニテ、別ニ外ノ言葉ニハ、移ラザルナリ、

他動詞

○他動詞トハ、其ノ言葉ノ意味、上ノ幾言ニモ、通ジテ移ル者ヲ云フ、即彼ハ學校ヘ行クト云ヘバ、行クト云フ言葉、彼ヨリ學校ヘ掛ケテ移リ、彼ハ吾ト學校ヘ行クト云ヘバ、彼ヨリ吾ト學校トヘ掛ケテ移ルナリ、此ノ類ノ言葉ヲ他動詞ト云フ、

順動詞
逆動詞

○動詞中我ヨリ働キ掛クル言葉ヲ、順動詞ト云
レ、我ガ受ケ身ニナル言葉ヲ、逆動詞ト云、即貞
時又久明親王ヲ、廢ス其ノ子守邦王大將軍ニ任
セラルト云フ文ノ、廢スト云フ動詞ハ、貞時カ久
明親王ヘ、働キ掛クル故、順動詞ナリ、任セラル
ト云フ動詞ハ、守邦王ガ受ケ身トナリテ、外ヨリ
仕掛ケラル、故、逆動詞ナリ、此ノ差別善ク察
スベシ、
人ヲ尊ム言葉遣ヒニハ、逆動詞ヲ順動詞ニ用フ
ルアリ、目上ノ人ノ言ヒ出スヲ、仰セラル、

規則動
詞

ト云フガ如シ、
○規則動詞トハ、動詞ノ語尾ヲ種々ニ變スルニ、
定リタル規則アルヲ云フ、是ニ五ノ種類アリ、即
四段・一段・中二段・下二段・三段等ノ働キノ差別アリ、
委キトハ、下ノ圖ヲ見テ知ルベシ、

四段ノ

飽キ 押キ 打ッ

動詞ノ働キノ圖
カキクケ
サシスセ
タチツテ

四段ノ働キハ、
其ノ語尾ヲ、縦
行中ノ四段ニ
變ズ、一段ノ働
キハ、外ノ段ヘ

日本書紀

キ働

キ働ノ段一

起 釣 住 逢

ハ マ ラ

キ 居 見 干 似 著 射

ヒ ミ リ

ク ル ム フ

ヘ ノ レ

變セズ、中二段ノ働キハ、縦行中ノ中二段ニ變ズ、其ノ餘ノ段モ、之ヲ推シテ知ルベシ、茲ニ示シタル、飽ク、押ス、等ノ言葉ハ、唯例ニ擧ケタルノミ

キ働ノ段二中

下

捨 瘦 受 得 率 舊 老 試 戀 落

チ ヒ ミ イ リ キ

ツ ヲ ム ユ ル ウ ウ ク ス ツ

テ ケ セ テ

ニテ、是ニ限リタル譯ニハ非ズ、比ハ、バ行クト云フ言葉モ、行カシ行キ行ク行ケト四段ニ働キ、益スト云フ言葉セ、益サン、益シ、益ス、益セト四段ニ

不規則
動詞

ハ、シ・ス・セ・ラ 添へザレバ、動詞トナラザル故、之ヲ
 着ケタル儘、一ノ言葉トスルナリ、或ハ文章ノ摸
 様ニ由リテ、之ヲ略スルモアリ、縦横奮撃之ヲ破
 ルト云フ文ノ奮撃ハ、動詞ナレ共、語尾ヲ略スル
 ガ如シ、約ノ字ハ、漢語ノ例ニ擧ゲタル者ナリ、
 何レノ段ニテモ、語尾ヲ濁ル言葉ハ、其ノ變化モ、
 皆濁ルナリ、閉ヂ閉ヅ、續キ續グ、感ジ感ズ等ノ如
 シ、

○不規則動詞トハ、總ベテ前ニ擧ゲタル、規則動
 詞ノ圖ニ當ラヌ言葉ヲ云フ、即來ハ來ト中ニ

日本、大泉

卷之二

五

働、段三

働、段二

約、為

兼、辨、譽、消、枯、饑

シ

ス

セ

又	フ	ム	ユ	ル	ク
子	ヘ	メ	エ	レ	エ

働クガ如シ、外
 ノ段ノ言葉モ、
 皆此ノ通りナ
 リ、
 三段ノ働キハ、
 唯一ノ為ノ字
 ノ變化ト、漢語
 ノ動詞ノ變化
 トニ、限ルナ
 リ、元來漢語ニ

段ノ外、別ニ来トモ變ズル故、不規則動詞ナリ、此ノ類ノ言葉ハ、外ニハ無キナリ、

シヲ語尾ニ持チタル、善シ・悪シアシ・強シ・弱シ・高シ・低シ・等ノ言葉モ、不規則動詞ナリ、此ノ言葉ハ、必加縦行ノ變化ヲモスルナリ、即善キ・善ク・悪キ・悪ク・等ノ如シ、

又シヲ語尾ニ持チタル、嬉・悲・樂・苦・等ノ言葉ハ、不規則動詞ナリ、此ノ言葉ハ、必別ニ加縦行ノ變化ヲスルナリ、即嬉キ・嬉ク・悲キ・悲ク・等ノ如シ、右兩様ノ動詞、加縦行杯ノ變化ヲナスルハ、規則

助動詞

動詞ナリ、然レ共シヲ以終ルキハ、一種異リタル形ノ動詞故、不規則動詞トスルナリ、
○助動詞ハ、大抵動詞ノ後ニ添フテ、其ノ意味ノ足ラヌ所ヲ、十分ニスル者ナリ、比ハバ流サ・流レト云ヒタル計リニテハ、其ノ意味未足ラス、之ニ流サシ・流レリト、助動詞ヲ添フルキハ、其ノ意味全ク足ルナリ、扱此ノ助動詞ニ、時ト云フコトアリ、即過去・現在・未來ナリ、
○過去トハ、最早過ぎ去リタル時ヲ顯スラ云フ、之ニ充分ト不充分トノ別チアリ、充分過去トハ、

過去

現在

其ノ時既過ギ去リテ、遠キ前ノトナリタルヲ云フ、即昔ハ學校鮮クアリシノ如シ、不充分過去トハ、其ノ事前ニ在レ共、全クハ過ギ去ラヌ者ヲ云フ、即近頃数多ノ學校ヲ建テリノ如シ、○現在トハ、今為ス時ヲ顯スヲ云フ、之ニ亦充分現在ト云フアリ、是ハ其ノ事令僅ニ終ルヲ云フ、即余書ヲ讀ミ了リタリノ如シ、其ノ充分ナラザル者ハ、今丁度之ヲ為スヲ云フ、即余書ヲ見ルノ如シ、扱此ノ時ヲ顯ス言葉ハ、何レモ助動詞ヲ假ルナレ共、唯現在ノ動詞ノミハ、之ヲ假ル者ト

未来

假ラヌ者トアリ、比ヘバ、飽キ、飽ク、飽ケ、約シ、約ス、約セ、ノ如ク、如何程語尾ヲ變化シテモ、意味ニ於キテ充分ナルキハ、別ニ助動詞ヲ用ヒズ、落ツル試ムル、約スルノ如ク、助動詞無ケレバ、其ノ意味充分ナラヌキハ、之ヲ添フルナリ、○未来トハ、今ヨリ後ノ時ヲ、前以顯スヲ云フ、是ニモ充分ト不充分トノ別チアリ、充分未来トハ、其ノ事全ク後ニ在リテ、他ノ時ニ関ラヌ者ヲ云フ、即余ハ明日讀マシ、ノ如シ、不充分未来トハ、過去ノ事ニテモ、現在ノ事ニテモ、大方是ハ箇様ナ

ラント、推量スルヲ云フ、即彼ハ讀ミタランノ如シ、

助動詞ノ圖

充分 現在	充分 過去	充分 過去
ケリケル ケレ	キシ	リヌル ヌレ
タラ タリ タレ	ツル ツレ	ナラ ナリ ナレ

助動詞ヲ重子タル、ナリケリ・タリシノ類ハ、上ノ言葉ハ、其事柄、時ヲ示シ、下ノ言葉ハ、之ヲ語ル時ヲ示スナリ、例ハ、
 行キタリシト

不成助動詞

現在	充分 未来 不充分 未来	充分 未来 不充分 未来
ルレ ラクツ、	エラレ	ンナン ラン
	ナラシ タラン ツラン	

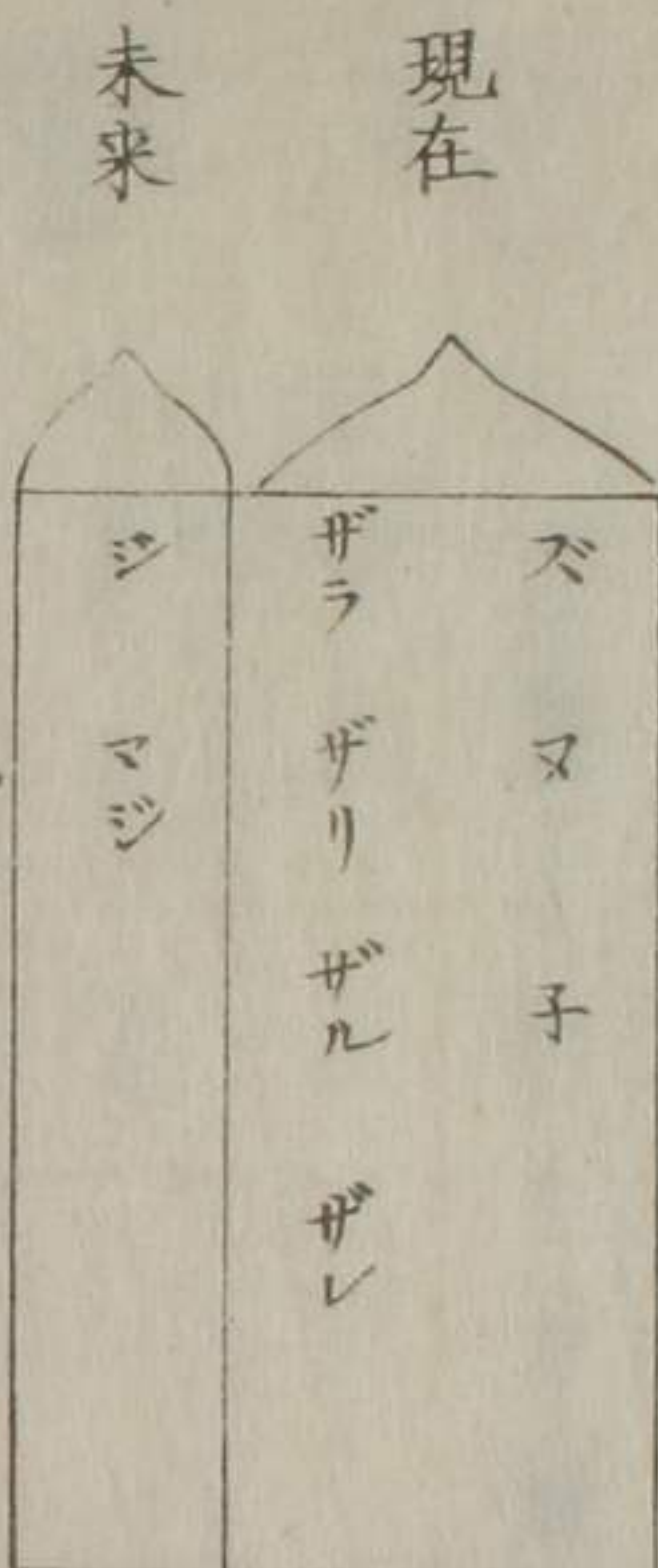
云フハ、行キタリ、ガ充分現在ナリ、其ノ行キタリヲ語ルニ付キテ、充分過去ノシヲ用

ヒタルナリ、其ノ外ノ言葉モ、皆此ノ例ナリ、
 ○前ニ舉ゲタル助動詞ノ外、別ニ不成助動詞ト云フ者アリ、是ハ前ノ事ヲ打ち消シテ、成シ遂ゲ又様ニスル言葉ニシテ、現在ト未来トノ時ヲ顯セリ、即見ス・見ジノ如シ、若過去ヲ顯サントスル

普通助動詞

片ハ、前ニ舉ゲタル過去ノ助動詞ヲ添ヘテ、之ヲ示スナリ、即見ザリシノ如シ、

不成助動詞ノ圖



持ツ故、別ニマシ
變化マシト、加縦行ノ

○助動詞及ビ不成助動詞ノ外、別ニ普通助動詞ト云フアリ、即吾人カ見ルヤ見ザルヤ童ヨ學ベヨ樂キカナ等ノカヤヨカナノ如キ

半助動詞

動詞ノ法

是ナリ、凡助動詞ハ、皆一ノ時ヲ持チタル者ナレ共、是ハ上ノ言葉ノ時ニ隨ヒ、三時ニ通ジテ用フルナリ、比ヘバ見シカト云ヘバ過去、見ルカト云ベバ現在、見ンカト云ヘバ、未來ナルガ如シ、

○動詞ノ形ヲ具ヘタル言葉ニテ、助動詞ノ如ク、外ノ言葉ノ後ニ就キテ、其ノ意味ヲ助ケ成ヌ者アリ、之ヲ半助動詞ト云フ、即視ル可シ、聽キ得ル言ヒ能フ、動カ使ム等ノ類ナリ、

○動詞ニハ、法ト云フ者アリ、是ハ過去現在未來ニ拘ラズ、其ノ言葉ノ屬スベキ、定リアルヲ云フ、

比へバ、余行クト云へバ、直ニ自分ノ行クヲ顯シ、君行ケト云へバ、人ヲ勸メテ行カシムルヲ顯スナリ、今此ノ類ヲ分チテ四法トス、即直説法・不成法・疑問法・命令法等ナリ、

直説法

○直説法ハ、其ノ儘ノ働キヲ顯ス者ナリ、即書ヲ讀メリ、字ヲ習フ、笑ヲ學バン等ノ如シ、

不成法

○不成法ハ、総ベテ其ノ言葉ヲ打チ消ス働キヲ顯ス者ナリ、即書ヲ讀マザリキ、字ヲ學バズ、笑ヲ學バザラン等ノ如シ、其ノ他、讀マンヤト云フ反語ハ、不成法ナレ共、讀マザランヤト云フキハ、却

リテ讀ムトナル故、不成法ヲ持チタル直説法ナリ、

疑問法

○疑問法ハ、疑ハシキヲ尋ヌル働キヲ顯ス者ナリ、即讀ムヤ、學バザルヤ等ノ如シ、此ノ學バザルヤノ類ハ、不成法ヲ持チタル疑問法ナリ、

命令法

○命令法ハ、命ズルヤ、願フヤ、又ハ戒ムルヤ、抑ノ働キヲ顯ス者ナリ、即讀メ、教ヘラレヨ、勉ムバシ等ノ如シ、又忘レザルバシノ如キハ、不成法ヲ持チタル命令法ト知ルベシ、

合詞

○合詞ハ、動詞ト同形リノ言葉ナリ、唯常ニ名詞

助動詞
ヲ添へ
タル分
詞

ノ上ニ在リテ、之ヲ形容シ、半分ハ動詞ノ如ク、半
分ハ形容詞ノ如クナル故、之ヲ分詞ト云フ、比ハ
バ、働ク時ハ勞ヲ厭ハズト云フ文ノ働クハ、動詞
ナレ共、時ト云フ名詞ヲ形容スルヲ以見レバ、形
容詞ノ状モアルナリ、此ノ類ノ言葉ヲ分詞ト云
フナリ、
○分詞ハ、助動詞ヲ添へタル儘、名詞ヲ形容スル
ト多シ、即知ラヌ事ハ知リタル人ニ問フヲ恥ヂ
ズノ如シ、
○種々ノ言葉ヲ合ハセラ句トナシ、其ノ句ヲ以

合成
詞

名詞ヲ形容スル者ヲ成句分詞ト云フ、即陸地ノ
間ヲ流ル、水ト云フ文ハ、唯流ル、ト云フ言葉
ノミガ水ト云フ名詞ニ掛ルノミナラズ、陸地ノ
間ヲト云フ處ヨリ、合ハセテ掛ルナリ、是等ノ類
ヲ成句分詞ト云フ、
○動詞ノ上ニ、外ノ言葉ヲ持チタル者モ、熟語ト
ナリタルキハ、一ノ動詞ト見做スベシ、比ハ、氣
遣フ直諫ス等ノ氣ハ名詞、直ハ副詞ナレ共、何レ
モ下ノ動詞ト熟シテ、一語トナリタル者故、合成
動詞トスルナリ、

副詞

○副詞ハ、大抵動詞ノ上ニ副フテ、動詞ノ様子ヲ細ニ顯ス者ニシテ、猶名詞ノ上ニ形容詞ヲ添フルガ如キ者ナリ、其ノ言葉ヲ細ニ分ツキハ、六ノ種類アリ、即作為地位時刻分量決定非否等ナリ、作為トハ、自然ニ為ルヲ、又ハ人ノ為スヲ、有リ様仕方ヲ云フ、即漸晴ル善ク讀ム何ゾ知ラニ等ノ如シ、是ノ何ゾハ、動詞ヲ強ク押ヘテ、及語トス自異トハ地位トハ其ノ場所ヲ云フ、即何レニ往ク此處ニ至ル等ノ如シ、時刻トハ時ノ早サ遅サヲ

云フ、即何時及ビ徐ニ速ニ等ノ如シ、或ハ地位ノコト、ソコヲ時刻ニ用フルヲアリ、コトニ於キテソコデ往ク等ノ如シ、分量トハ大サ小サ多サ寡サヲ云フ、即大ニ喜ブ甚卑シ等ノ如シ、決定トハ物事ヲ慥ニ定ムルヲ云フ、即必為ス誠樂シ等ノ如シ、非否トハ否ミ嫌フヲ云フ、即否否々々等ノ如シ、

○副詞ハ、形容詞ト似タル者ニテ、唯其ノ語尾ト添フベキ言葉トヲ異ニス、其ノ類四アリ、第一形ヲ變ゼザル者、第二語尾ニクヲ持ツ者、第三後詞

形ヲ變
ゼザル
副詞

語尾ニ
ツツ持
副詞

ニヲ添
フル副
詞

動詞ヨ
リ變ズ
副詞

日本書紀

ノニヲ添フル者、第四動詞ヨリ變スル者

○形ヲ變ゼザル者トハ、初メヨリ副詞ニ作リタ

ル言葉ヲ、其ノ儘用フル者ヲ云フ、即各處唯殆稍

略頗甚等ノ類ナリ、

○語尾ニクヲ持ツ者トハ、即善ク讀ム、惡ク書ク、

淺ク掘ル、深ク浚フ、樂ク送ル、美ク咲ク等ノ如シ、

○後詞ノニヲ添フル者トハ、即愚ニ考フ、暖ニ照

ラス、柔和ニ言フ等ノ如シ、

或ハ實ニ以ト云フヲ、實以ト云ヒ、縦横ニ奮撃ス、

ト云フヲ、縦横奮撃スト云フ如キハ、皆ニヲ略シ

タル者ナリ、ハ、其ノ形ハ動詞ト同ケ

○動詞ヨリ變ズル者トハ、其ノ形ハ動詞ト同ケ

レ共、全ク副詞トシテ用フル者ヲ云フ、即行ク々

々見ル、至リテ尊シ等ノ如シ、

右ノ外、最モ多クハ、熟ト等ノ如ク、種々ノ後詞ヲ

添ヘタル副詞アレ共、縦令之ヲ添ヘザルモ、副詞

ニ相異ナキ者ナレバ、前ノ名詞ニニヲ添ヘテ、副

詞トスルトハ異リテ、規則中ニハ非ザルナリ、

○凡副詞ニ二ノ差別アリ、之ヲ正用副詞變用副

詞ト云フ、

日本書紀

正用副

○正用副詞トハ、副詞ノ持チ前ノ遣ヒ方ニテ、必
 動詞ノ上ニ添フテ、其ノ動詞ノ働キヲ、細ニ頭ス
 者ナリ、即會遇フ、強ク擊ツ等ノ如シ、或ハ二三詞
 ヲ越シテ、上ヨリ動詞ニ添フ者アリ、即深ク此ノ
 理ヲ知ルノ如シ、
 非否ノ言葉ハ、外ノ副詞ト異リテ、動詞ノ上ニ添
 ハザレ共、是亦正用中ノ者トス、
 ○副詞ハ動詞ニ添フヲ以、當然トスレ共、中ニハ
 外ノ言葉ニ添フコトアリ、之ヲ變用副詞ト云フ、即
 僅東ト云フハ名詞ニ添ヒタル者、正ニ是ト云フ

變用副

成句副

ハ代名詞ニ添ヒタル者、大ニ赤キ色ト云フハ、形
 容詞ニ添ヒタル者、正ニ且ト云フハ、接續詞ニ添
 ヒタル者、只正ニト云フハ、重子テ副詞ニ添ヒタ
 ル者ナリ、其ノ外蓋此ヲ謂フナリ、ノ類ハ、蓋ノ字
 下ノ全句ニ掛ル者ニシテ、亦變用副詞ナリ、
 ○一句ノ儘、動詞ニ添フ者ヲ、成句副詞ト云フ、即
 思ヒ寄ラズ逢フノ如キ類ナリ、是ハ思ヒ寄ラズ
 ト云フ、組ミ立テタル言葉ガ、其ノ儘逢フト云フ
 動詞ニ添フコト故、一句ヲ以副詞ト見做スコトナリ、
 ○副詞中、外ノ言葉ト熟シテ用フル者ヲ、合成副

合成副

詞ト云フ、即此處其處ノ如キモ、上ノ此其ハ代名
詞、下ノ處ハ名詞ナリ、又心苦ク、手輕クノ類モ、上
ノ言葉ハ名詞ナレ共、何レモ合ハセテ一ノ副詞
トスベキナリ、

後詞

○後詞ハ、名詞又ハ他ノ言葉ノ下ニ着キテ、種々
ノ意味ヲ、細ニ顯ス者ナリ、日本ニテハ、話シニテ
モ、文章ニテモ、此ノ後詞ト云フ者無キハ、少モ
其ノ意ヲ通ズル能ハザルナリ、即海トハ兩陸ノ
間ニ介マリタル所ヲ云フトアル文ノトハ、ハノニ

ヲノ類、皆之ヲ後詞ト云フ、扱此ノ後詞ノ大切ナ
ルヲハ、其ノ使ヒ方、少ニテモ無理ナル所アレバ、
全ク其ノ意味ヲ成サヌ故ナリ、比ヘバ、水ヲ器ニ
入ルト云ヘバ、器ノ中へ水ヲ入ル、一、水ニ器ヲ
入ルト云ヘバ、水ノ中ニ器ヲ入ル、一ニテ、唯ニ
トヲトヲ置キ代ヘルノミニテ、其ノ意味全ク反
對スルナリ、今之が種類ヲ分チテ二トス、一ヲ單
用後詞ト云ヒ、一ヲ重用後詞ト云フ、
○單用後詞トハ、唯一ノ言葉ニテ、其ノ意味ヲ充
分盡クス者ヲ云フ、即ハ、ハ、バ、ニ、ヘ、ト、ド、ヲ、ガ、ヨリ、ガ、

單用後詞

ナドナガラノノミヤマデコロソテデモスラ等ノ類ナリ、

重用後

○重用後詞トハ、唯一ノ言葉ノミニテハ、其ノ意味ヲ盡クサヌキ、之ヲ重子テ用フル者ヲ云フ、即ニハ、ニゾニテニモトハトガモドモフバテハ、テハヨリモマデモ等ノ如シ、其ノ三重子タル、ニテハニテモマデニハトノミゾ等ノ如キモ、亦重用後詞ナリ、

動詞所屬ノ後

○以上数多ノ後詞中、バドテテノ四ハ、動詞ニノ著ク者ナレバ、之ヲ動詞所屬ノ後詞ト云フ、其ノ直ニ外ノ言葉ニ著キタルハ、必動詞ヲ略シタル者ナリ、斯ク在リテヲ、斯クテト略スルガ如シ、○後詞ト普通助動詞トハ、似寄リタル者故、其ノ別チニ迷フ者アラン、然レ其後詞ハ、言葉ノ模様ヲ言ヒ起ス為ノ者、普通助動詞ハ、言葉ヲ結ブ為ノ者ナリ、但シ、ゾノミノ如キハ、稀ニ結ビノ場所ニモ置クアレ共、矢張り後詞トスルナリ、○重用ノ後詞ハ、各其ノ言葉ノ意味ヲ持チタル者ナレ共、稀ニハトモバヤノ如ク、少ク其ノ義理ノ變ルイモアリ、又助動詞ト合シテ、カハノ如ク、

接續詞

○接續詞ハ、前後ニ在ル種々ノ言葉ヲ、結ビ付クル者ナリ、即ち大ニシテ且明ナル。曉星又夕星ト云フノ類ノ如シ、其ノ言葉、大抵且而則但シ、諸猶又將等ナリ、

○接續詞ニ、單用重用ノ別チアリ、前ニ舉ゲタル例ノ如キハ、唯一ノ言葉ヲ用ヒタル者故、單用ナリ、且又將又ノ如ク、二ノ言葉ヲ重子テ用ヒタル者ハ、重用ナリ、

單用接續詞重用接續詞

動詞狀副詞狀接續詞

○及ビ並ビニノ如キ言葉ハ、動詞ノ形ヲ持チタル者故、動詞狀ノ接續詞ナリ、故ニ遂ニノ如キ言葉ハ、副詞ノ狀ヲ持チタル者故、副詞狀ノ接續詞ナリ、

合成接續詞

○而加之等ノ言葉ハ、其ノ書キタル漢字ヲ目當テニ、接續詞トナシテ、別ニ其ノ言葉ヲ分ツニ及バズ、是ノ故ニ然レ共ノ如キハ、文字ニモ、種々ノ言葉ヲ書キ分タル程ナレバ、一ノ言葉ニハアテラ子共、何レモ前後ヲ結ビ付クル者ナレバ、合成接續詞トスルモ、妨ゲナキナリ、

感歎詞

○感歎詞ハ、話シヤ文章ノ間ニ於キテ、喜ビ怒リ
 哀ミ樂ミ驚キ畏レ等ノ聲ヲ、不意ニ投ゲ入ル、
 ラ云フ、故ニ之ヲ間投詞トモ云フナリ、即イテ、イ
 ザ、オ、ア、ア、等ノ如シ、其ノ外俗ニ用フル感歎詞
 ハ、誠ニ数多アリ、即ハア、ワア、オヤ、等ノ類ナリ、
 ○種々ノ言葉ヲ、一ニ合ハセテ、感歎詞トスルア
 リ、アラ、憾メシヤ、ノ如シ、
 以上名詞ヨリ感歎詞ニ至ル迄、八通りニ分チ
 タル言葉ヲ、八品詞ト云フ、此ノ八品詞ノ内、何

合成感歎詞

レニモ、拘リ合ヒアル言葉アリ、之ヲ下ニ掲グ、

冠詞

○冠詞或ハ枕言葉共云フ、是ハ其ノ目指ス言葉
 ヲ、云ヒ出ヌ為ニ、上ニ置ク言葉ニシテ、其ノ中ニ
 重ナル意味アルニハ非ザルナリ、比ハ、
 神ノ世、カク片イ絲ノ寄リ々々等ノ如シ、是ハ神ト云
 ハンガ為ニ、神ヲ贊カハル言葉ヲ、前ニ置キ、寄リ々
 タト云ハンガ為ニ、絲ヲ燃ルト云フ言葉ヲ假レ
 ルナリ、尤是ハ、近キ躰ノ文ニハ用ヒザルナリ、

掛ケ言葉

ルナリ、尤是ハ、近キ躰ノ文ニハ用ヒザルナリ、

○拙ク言葉ハ、其ノ言葉ノ外ニ、別ニ一ノ意味ヲ
持タセタル者ナリ、即知ルモ知ラヌモ逢フ、ト云
フヨリ、其ノ逢フヲ假リテ、直ニ逢坂ノ關ト云ヒ
美濃尾張ト云フ中ニ、身ノ終リト云フ意ヲ持タ
セタル類ナリ、是モ當時ハ、餘リ用ヒザルナリ、

複語

○複語ハ、重子言葉ナリ、名詞代名詞ノ山々是々
ノ如キハ、皆複數ヲ頭ス為ニ用フルナリ、其ノ外
早々カタ回リ回リ、又々カタ嗚呼々々ノ如キハ、唯意味ヲ
強ムル為ニ用フルナリ、

熟語

○熟語ハ、前ニモ度々舉ゲタル如ク、二三ノ言葉
ヲ合ハセタル者ナリ、比カタヘバ形ト云フ言葉ト作ツク
ルト云フ言葉トヲ合ハセテ、形ルト云フ言葉ト
ナシタル類ナリ、其ノ外無理、非道ノ類モ、音ニテ
讀ム上ハ、熟シテ一ノ言葉ト見做スベシ、

○文章論

起語結語

○文章ハ、已ノ思フ所言フ所ヲ記ス者ニシテ、二
三ノ言葉ヨリ、數萬ノ言葉ヲ合ハセタル者迄、總

ベテ之ヲ文章ト云フナリ、此ノ文章ニ、起語結語ト云フヲアリ、起語トハ言ヒ起ス言葉、結語トハ其ヲ止ムル言葉ナリ、比へバ、人ハ過ダト云フ文ノ人ハト云フハ、起ス言葉、過ダト云フハ、其ヲ止ムル言葉ナリ、

此ノ起語ト結語トニ、自然極リタル法アリテ、其ノ言ヒ起シ方ニ由リ、結ビ方モ從フテ異ルナリ、比へバ、人ハト起セバ、過ダト止ム、人ヤト起セバ、過ダルト止ムルガ如シ、猶下ノ章ニ、其ノ謂ヲ説カン、

第一節
第二節
第三節
ノ起語

○起語ニハ、ハ、モ、徒、ダ、ノ、ヤ、何、コソト云フ、ハノ言葉遣ヒアリテ、結語ト睨ミ合フナリ、其ノ中ハ、モ、ゾ、ノ、ヤ、コソ、ハ、皆後詞ナリ、後詞ハ、皆起語ナレハ、ノ、者ト知ルバシ、徒トハ、人過ダト云フ如ク、ハ、共、其、ガ、共、付、ケ、ヌ、ヲ、云、フ、何、ト、ハ、誰、カ、如、何、ニ、ノ、如、ク、疑、ヒ、ク、意、ヲ、持、チ、タル、言葉ノ、總、名、ニ、シ、テ、誰、カ、過、ダ、ルト云フ様ナル類ナリ、
扱此ノハノ起語ヲ、部分ケスルキハ、第一ヲハ、モ、徒、ト、シ、第二ヲダ、ノ、ヤ、何、ト、シ、第三ヲコソトス、之ヲ三條ニ分ツ所以ハ、其ノ結ビ言葉ニ、三ノ違ヒ

ヲナスヲ以ナリ、
 ○結ビ言葉ニ、三ノ違ヒアルト云フ謂ハ、取り揃
 ミテ云へバ、ハ・モ・徒ヲ結フ言葉ハ、語尾ニ字横行
 ノ音ヲ持ツ者ナリ、人ハ過ダノ如シ、
 結ブ言葉ハ、其ノ言葉ノ下ニルヲ添フ、人ヤ過ダ
 ルノ如シ、コソヲ結ブ言葉ハ、其ノ言葉ノ下ニレ
 ヲ添フ、人コソ過ダレノ如シ、猶下ノ圖ヲ見テ之
 ヲ覺ルベシ、

起語結語ノ圖

ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ	モ徒
流乱 ルル	聞見 ユユ	詠止 ムム	媚添 フフ	重尋 ヌヌ	出立 ツツ	寄任 スス	過來 クク	植得 ウウ	
ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ	ゾノヤ何
流乱 ルル	聞見 ユユ	詠止 ムム	媚添 フフ	重尋 ヌヌ	出立 ツツ	寄任 スス	過來 クク	植得 ウウ	
ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ	コソ
流乱 ルレ	聞見 ユレ	詠止 ムレ	媚添 フレ	重尋 ヌレ	出立 ツレ	寄任 スレ	過來 クレ	植得 ウレ	

能ヲビ第 各ヲ詠動ノ詞不
ハ付ニ二 変結ニ詞外及成
ガクテノ ズル由モノ助
ルルル結 方リ起助其動

ツ	ス	ク	シ	リ	キ	又	ツ	ズ	ウ
待打	假残	行書	嬉善	夕有	答問	絶成	思言	替知	飢率
ツツ	スス	クク	シシ	リリ	ヘヒ	エリ	ヒヒ	ララ	ウウ
					キキ	ヌヌ	ツツ	ズズ	
能ヲ	ビ第		キ	ル	シ	又	ツ	又	ウ
ハ付	ニ三					ル	ル		ル
ガク	テノ		嬉善	夕有	答問	絶成	思言	替知	飢率
ルル	レ結		キキ	ルル	ヘヒ	エリ	ヒヒ	ララ	ウウ
					シシ	ヌヌ	ツツ	ズズ	
テ	セ	ケ	ケ	レ	シ	ヌ	ツ	子	ウ
			レ		カ	レ	レ		レ
待打	假残	行書	嬉善	夕有	答問	絶成	思言	替知	飢率
テテ	セセ	ケケ	ケケ	レレ	ヘヒ	エリ	ヒヒ	ララ	ウウ
			ケレ		シカ	ヌレ	ツレ	子	レ

一言葉ハ、第
其ノ如ク、第
結ブ、儘ニ

フ	ム	ル
思言	帰住	降契
フフ	ラム	ルル
	ン	
尾言	行ニ	
ヲ葉	結ブ、	
ハ、	変ジ	
横語		
フ	メ	レ
思言	帰住	降契
ハハ	ラム	レレ
	メ	

轉語略語

○轉語トハ、前ノ法ノ如ク、上ノ言葉ヲ結ハベキ
筈ナルニ、猶言ヒ足ラヌ所アル故、下へ移シ續ク
ル言葉遣ヒナリ、比へバ、學校ニ出デ、ハ書物ヲ
讀ヒ又手習ヒスベシト云フ文ニテ云へバ、學校
ニ出デ、ハ書物ヲ讀ムト結ハベキヲ、下へ移ス

為ニ、讀ミト云フガ如シ、然レ共是ハ一度移シテ
モ、二度移シテモ、必終リニ至リテ、之ヲ結ブナリ、
即、手習ヒスベシト結バルガ如シ、

○略語トハ、上ノ言葉ヲ、助動詞ニテ結ブキ、或ハ
之ヲ省キテ、用ヒザルヲ云フ、比ヘバ、遊歩ヲ為ス
ハ運動ノ為ト云フ文ハ、運動ノ為ナリト結ブベ
キヲ、略シタルガ如シ、

○起結轉略ノ謂、前ニ舉ゲタルガ如クナレ共、初
學ノ覺リ易カラシム為、短キ文ヲ下ニ舉ゲテ、其ノ
例ヲ知ラシム、

水氣ノ起多ク蒸騰シ轉テ、大陽ノ光ニ映ズル結
ナガラ時ハ、起虹ト為ル結虹ニハ、起其ノ色起ト
轉ズ、結ハ起赤色ニシ轉テ、次ヲ柑色トス、結黃
色起之ニ次ギ、轉綠色起又之ニ次グ、結次ハ起青
色、略次ハ起紺色、略次ハ起紫色ナリ、結

變格

○變格トハ、起語ト結語ト、前ノ法ノ如ク、睨ミ合
ハザル者ヲ云フ、即、ヤ何ノ起語ハ、何レモ第二ノ
結語ニテ、結ブベキヲ、第一ノ結語ニテ結ブヲ云
フ、比ヘバ、賜ヤ過ギタルト云フベキヲ、賜ヤ過ギ

ノ生ハ吳音、經書ノ經ハ漢音、佛經ノ經ハ吳音ナ
ルガ如シ、

約音助音

○約音トハ、其ノ儘ニ遣フベキ言葉ヲ、或ハ縮ム、
或ハ省クヲ云フ、聞キ度クアリシヲ、聞キ度カリ
シト縮ム、持チテヲ、持テト省クガ如シ、助音トハ、
二ノ言葉ノ間へ、意味ナキ聲ヲ、助ケ入ル、ヲ云
フ、沖ツ波頃シモ、無クンバ、等ノ如シ、此ノ言葉ハ、
皆後詞ニ属スル者トス、

歌ノ調子

○歌ハ、文章ノ中ノ一端ニテ、其ノ言葉善ク調子
ニ合フヲ第一トス、日本ノ言葉遣ヒニテハ、五文
字ト七文字トノ句、善ク調子ニ合フナリ、故ニ
歌ハ、五文字七文字五文字七文字七文字ト、都合
三十一文字ニテ、作ルナリ、其ノ外長歌ニテモ、發
句ニテモ、又ハ世間ニテ謠フ所ノ、流行謠ノ類ニ
テモ、長キト短キトノ違ヒコソアレ、何レモ五文
字ト、七文字トヲ以、句調ヲナスナリ、但シ稀ニハ
字餘リトテ、五文字ヲ六文字トシ、七文字ヲ八文
字トスルナリ、多クノ歌ニ就キテ、善ク々々考

へ見ルベシ、

日本小文典卷之下終

明治九年八月七日
版權免許

著者 中根淑藏版

東京下谷仲徒士町
四丁目三十二番地

東京馬喰町二丁目一番地

發兌書肆 森屋治兵衛

